

文化財の集積する桜の名所



手前：出水井上屋／後ろ：水道記念館



缓速ろ過池調整室 (国登録文化財)

1934年（昭和9年）に完成した盛岡市最古の水道施設です。現在でも当時と同じ緩速ろ過によって水道水が造られています。緩速ろ過池をはじめとする緩速系施設は、場内にある水道記念館とともに、1999年（平成11年）に国の有形文化財に登録されています。

3つの池それぞれの調整室は、外観が当時流行した新古典主義あるいはアール・デコ風のデザインとなっています。

水道記念館（旧管理事務所兼管理者住居）の正面外観は左右対称形で、全体の様相は昭和初期のモダンな折衷様式のデザインを色濃く残しています。

出水井上屋は、鉄筋コンクリート造平屋建てで八角形の平面が特徴となっています。

桜の名所としても知られ、場内には約30本のヤエベニシダレザクラが咲き誇ります。開花時期には特別に敷地内も開放され、存在感のある浄水場の赤レンガの建物とともに風光明媚な景観を楽しむことができます。

